

13. 近代世界の確立とアジア

欧米諸国の近代化

イギリス…16世紀、女王① **エリザベス1世** の時代に、② **東インド** 会社の設立など

→海外発展の土台を築く

格闘者 クロウダ
③ **絶対王政** を確立しようとする国王と議会が対立→1642年、王に君臨するが治るはず
④ **ピューリタン** 革命→1688年、⑤ **名誉革命** →勝利の車馬を發布

アメリカ…イギリス本国による新税に抗議し独立を目ざす→1775年、**独立戦争**→1776年、

⑥ **独立宣言** 発表→戦争に勝利し、アメリカ合衆国を立てる ジョージ・ワシントン

フランス…国王ルイ14世のころ③を確立、18世紀、啓蒙思想の広まりフランスの⑦ **ルソー** は **社会**

契約論 で人民主権を唱える→国王の専制政治や社会制度に対して批判が強まる

→1789年、⑧ **フランス** 革命がおこる→国民議会在が⑨ **人権宣言** を発表

⑩ **産業革命** …イギリスで蒸気機関が新しい動力として利用され、工業の生産力が向上→社会や生活が大きく変化→安価な製品を世界中に輸出したイギリスは「⑪ **世界の工場** 」とよ

シマエマールに ばれる
格闘者 クロウダ
⑫ **資本** 主義…資本家と、賃金でやとわれて働く労働者による経済のしくみ
⑬ **社会** 主義…生産手段の共有など平等な社会の実現を目ざす。マルクスなどが唱える
啓蒙思想
⑭ **ロフ**
⑮ **モンテスキュー**
⑯ **ルソー**
社会契約論
法の精神、三権分立

欧米諸国の発展とアジアの植民地化

アメリカ合衆国…南部と北部の州の間で対立が激化し、1861年、⑭ **南北** 戦争がおこる
→⑮ **リンカン(リンカーン)** 大統領は奴隷解放を宣言、北部が勝利

ロシア帝国…19世紀中ごろ、クリミア戦争に敗れる→農奴解放令を出す

ドイツ…プロイセン王国の⑯ **ビスマルク** 首相が帝国として統一。富国強兵を進める 社会契約論

インド…②会社が進出。⑩のあと、安価な綿織物をイギリスが大量に輸出→インドの綿産業がおとろえる

→人々の不満が高まる→1857年、⑰ **インド大反乱** がおこる →⑱ **パナ**

中国(清)…イギリスがインド産の⑲ **アヘン** を密輸→清が厳しく取りしめる→1840年、⑳ **戦争** がおこる

→イギリスの勝利→㉑ **南京条約** 締結、アヘンのイギリス 中国(清)

㉒ **太平天国** →重税を課せられ生活が苦しくなった

農民らが、1851年㉓ **洪秀全** を

指導者とする㉔をつくる→外国軍や

地方の有力者が編成した軍の力を借

りた清により滅ばされる

